



新教出版社 出版通信

2022年
1月

〒162-0814 東京都新宿区新小川町9-1 Tel: 03-3260-6148 Fax: 03-3260-6198
ホームページ: <http://www.shinkyō-pb.com>

2022年をみことばと共に 聖書日課から



この日言葉をかの日に伝え W・リュティ小説教一日一章

W. リュティ著 井上良雄訳

バルトやトゥルナイゼンの盟友であり、20世紀を代表する名説教者の、アドベントから始まる力強く美しい小説教を、井上良雄氏の名訳で贈る。

A5変形判 684頁 定価6930円 僅少



主のよき力に守られて ボンヘッファー一日一章

村椿嘉信訳

その全著作から、御言葉への深い洞察に基づく慰めと希望に溢れた言葉を精選して366日に配列。一日一日を恵みの喜びに生きる力を与える。

四六判 684頁 定価5500円



信じつつ祈りつつ ボンヘッファー短章366日

D. ボンヘッファー著 小池創造訳

信仰と行動とが渾然一体をなす珠玉の告白的文章から短章366篇を選ぶ。み言葉を、日々祈りつつ戦う力の源泉とするための聖想集。

B6判 136頁 定価1540円 僅少



御言葉はわが足のともしび 日々聞く聖書と祈り

蓮見和男著

毎日、聖書を読み、み言葉に聞き、祈るための1日1ページの小説教と祈り366篇。旧新約全体に目配りがきき、巻末に問題別、教理別索引を付す。

四六判 420頁 定価3850円



祈りの花束 聖書から現代までのキリスト者の祈り

V. ズンデル編、中村妙子訳

聖書の祈りに始まり、教父、宗教改革者、近現代の哲学・文学者、キング牧師、マザーテレサらの祈り。各人の簡潔な伝記と肖像、イラスト付き。

B4変型判 126頁 定価3300円

● 10月刊行

ヴェーバーとフランクリン

梅津順一著 神と富と公共善

◆四六判・定価 4950 円

ヴェーバーが「資本主義の精神」を体現する人物と評したベンジャミン・フランクリンの生涯と行動を綿密に分析し、その宗教観や社会観を通して、初期資本主義の担い手となった人間像を明らかにする。

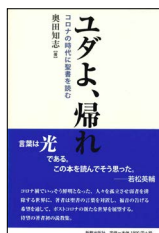


● 9月刊行

ユダよ、帰れ

奥田知志著 コロナの時代に聖書を読む ◆四六判・定価 1980 円

コロナ禍で鮮明になった、人間を分断し、孤立させ、弱者を排除する社会に対して、著者は、聖書の深い読みと長年の実践に裏付けられた洞察をもって、福音を大胆に対置する。著者の面目躍如たる説教集。

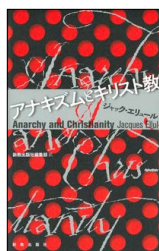


● 9月刊行

アナキズムとキリスト教

ジャック・エリュール著／新教出版社編集部訳 ◆四六判変型・定価 2750 円

鋭利な技術社会批判で知られる著者は、組織宗教の権威主義や国家を迫認する聖書理解に反駁し、信仰とアナキズムの会合すべき地点を開示する。キリスト教に内在するアナーキーな可能性がここに明らかとなる。



● 8月刊行

遺跡が語る聖書の世界

長谷川修一著

◆四六判・定価 2310 円

聖書の世界の人々は、どんな住まいに住み、いかなる食生活を送り、何を着て装っていたのか？ また彼らが使っていた貨幣や暦は？ 戦争ではどんな武器を使っていたのか？ 聖書考古学の第一人者が、古代の人々の暮らしと社会をめぐる興味尽きないテーマを楽しく解説。聖書の読み方が一歩深くなる。



工藤万里江著

クイア神学の挑戦

クイア、フェミニズム、キリスト教

独自の思想活動によって大きな影響力を持つ三人の女性神学者を考察し、フェミニズム（神学）とクイア（神学）に共通する課題と断絶を明らかにすると共に、「クイア神学」の多様な内実、その課題と可能性を整理する。類書に乏しい本格的なクイア神学研究書。

A5判・定価4730円

内田樹著

レヴィナスの時間論

戦後のレヴィナス思想の出発点を告げる『時間と他者』。難解をもつて鳴る同書を徹底的に精読、注解することを通して、深い苦しみの時間を生き抜いたユダヤ人の希望の時間論が浮かび上がってくる。思想との真の格闘の醍醐味を味わわせてくれる書。

四六判・予価2500円

オサジエフォ・ウフル・セイクウ著／山下壮起訳

アーバンソウルズ

黒人青年、宗教、ヒップホップ・カルチャー

差別、貧困、警察暴力に包囲された黒人青年たちの救いはどこにあるのか。後期近代の都市における物質的・空間的荒廃から発現したヒップホップの霊性を証しする、戦闘的牧師・神学者による黒人神学の最前線。

B6変型判・予価2200円

戸田聡著

古代末期・東方キリスト教論集

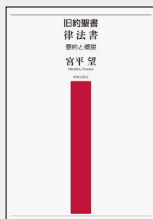
キリスト教修道制の成立をめぐる諸研究や、『エジプト人マカリオス伝』や最初のシリア語キリスト教著作作家バルダイサンに関する研究と原典翻訳など、他に著者が企図するヴェーバー『宗教社会学論集』全訳をめぐる論考を含む27編を収録。

A5判・予価5500円

● 11月に出版の本と雑誌

旧約聖書 律法書

宮平望著 要約と概説



「律法書」は、創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記を扱う。各文書を章ごとにヘブライ語原典に基づいて要約し、新約聖書の視点から創見に満ちた解釈を随所に盛り込む。新たな旧約シリーズ刊行開始。

◆ A5判・定価2200円

教会政治の神学

吉岡契典著 改革派の教会政治原理とは

教会政治は（キリストの王権）という教会の本質目的に仕える上で必要な手段と捉え、教会の状況と文脈に応じる可変的な教会政治の一例を、〈長老主義教会政治〉に見出し、その歴史の由来と原理を考究する。

◆ 四六判・定価1100円



福音と世界

12月号 クイア神学は何をするのか

◆ 定価6600円

寄稿者：堀江有里、浅香知己、川口弾、安田真由子、小林昭博、イム・ボラ×長尾有起／宇井志緒利、田崎英明、村澤真保呂、有住航、栗田隆子、金迅野、土井健司、好井裕明、辻学

●山下壮起さんと二木信さんの編で二〇二一年二月に刊行された『ヒップホップ・アナムネーシス』には、オサジエフォ・ウフル・セイクウ牧師による説教「フーガソンの前線より」が収録されていました。セイクウは、二〇一四年にフーガソンでマイケル・ブラウンが白人警官によって射殺されて以来、ブラック・ライヴズ・マターと歩みを共にしてきた戦闘的な黒人牧師です。じっさい説教では、シヨッピングモールなどを封鎖するラディカルな抗議が、展望を欠いた虚無的なものでは決してない、新たな時空間を作り出す試みとして高く評価されます。またセイクウは、警官に殺害された少年の葬儀のためにクィアのアナキストたちが教会に集う光景が、保守的で自足した教会そのものへの救いなのだと述べます。救いをメッセージとして宣べ伝えるのではなく、蜂起とともに躍動する救いに身を投じることを促す、それがセイクウの神学なのです。二月に山下さんの訳で刊行されるセイクウの著書『アーバンソウルズ——黒人青年、宗教、ヒップホップ・カルチャー』では、この神学が全面展開されます。要となるのは、もちろんヒップホップ。早逝したトゥーパックをめぐり、キリスト者たちがイエスについて語る以上の熱意をもって議論する黒人青年

たちの姿を、教会はいかに受け止められるのか。ヒップホップは、都市の荒廃した現実根をもちながら、その現実を乗り越えようとする魂の格闘である。はたして教会はそれができているのか。セイクウの神学の戦闘性は、人種・性差別や貧困の重層的構造のみならず、教会にも向けられていると思います。(堀)

●大手取次の日販とトーハンが二〇二一年の年間ベストセラーを発表しました。それぞれの総合一位は、日販が永松茂久『人は話し方が9割』、トーハンが大川隆法『秘密の法』でした。「ベストセラーとは誰も読んでいない本のことだ」という警句がありますが、私の周囲の本好きに尋ねても、この二著を読んだ人はひとりもいません。いったい誰が読んでいるのか。あるいは、私がつきあっている読書人はみな「世間一般」から外れた人たちばかりなのか。ところで朝日新聞のコラム「折々のことば」で、哲学者の鷲田清一さんが、小社のアンゲラ・メルケル著『わたしの信仰』を二回にわたって取り上げ、彼女の素晴らしい言葉を紹介して下さいました(二月三日、四日)。さっそく掲載当日から多くの注文が寄せられています。ベストセラーとはほど遠いこういう地味な本が注目されるのは、嬉しいことです。(小林)

福音と世界

2022年
1

A5判・80頁・定価660円・送料70円
年間予約購読料(送料共)8760円

特集・インフラの解放

サボタージスム 遮断 コモン化——インフラからの解放のためのノート 原口剛

街路を教会とする——インフラとしての教会をめぐる解放の神学 有住航

資本と人びとの自治との拮抗のなかのインフラ——いま、京都市内の大学をめぐり起きていること 大野光明

私たちのインフラ、あるいは、マテリアル・アンサンプル——森崎和江と「身体・領土」についてのノート 大畑凜

軍事主義インフラに抗する、連帯の脱植民地化に向けて——阿部小涼

〈インタビュー〉バットシット・コンストラクション——デヴィッド・グレーバー

エバーハルト・ユンゲル追悼……………福嶋揚

書評 並木浩一『ヨブ記注解』……………月本昭男

新連載 新約釈義ルカ福音書……………山崎ランサム和彦

【好評連載から】

◆ 間隙を思考する 非同時代性のために 10……………田崎英明

◆ 古代イスラエル文学史序説 11……………勝村弘也

◆ 霊性のエロジー あるいはアミレリア 12……………栗澤真保呂

◆ I Say a Little Prayer 開かれる世界 22……………栗田隆子

◆ いまを生きるみことば 22……………金迅野

◆ 教父学入門 28……………土井健司